

デジタルグリッド株式会社とのコミットメントライン契約締結および ディープレック・スタートアップ等への資金供給の強化について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、このたび、アレンジャーとして、デジタルグリッド株式会社（代表取締役社長：豊田 祐介、以下「デジタルグリッド」）と、総額56億円のシンジケーション方式によるコミットメントライン契約（※1）（以下「本契約」）を締結しました。本件を筆頭に、みずほ銀行は、将来の産業創出を担うディープレック・スタートアップ（※2）等の持続的な成長に貢献すべく、デット調達ニーズへの対応力を強化していきます。

デジタルグリッドは、日本初の民間による自由な電力取引市場「デジタルグリッドプラットフォーム（DGP）」を、2020年2月から運営しています。政府が再生可能エネルギーの主力電源化を掲げ、再エネ電源の活用ニーズは高まる一方、需給調整が困難である点など、普及に向けては様々な課題を抱えています。多種多様な電源と電力需要をピアツーピア（P2P）で結びつけるDGPの成長により、「エネルギーの民主化」を通じた、持続可能な社会の実現が期待されています。

革新的な技術やサービスの社会実装へ中長期にわたり挑戦するグロース期のスタートアップにとって、厳しいエクイティ環境が継続する中、十分な成長期間の確保に向けたデット調達の重要性が高まっています。みずほ銀行は、このたび、特に宇宙領域やエネルギー領域など、次世代の産業創出と社会課題解決が期待されるディープレック等のイノベーションを注力領域として、業界ごとに有するリスク特性や事業性の評価軸を明確化することで、深度ある与信検討の態勢を整備しました。本態勢を核に、大企業やベンチャーキャピタルなど様々なステークホルダーと連携しながら、他の金融機関とともに、マーケット動向に左右されない安定した資金供給の実現と成長支援を推進します。

〈みずほ〉は現中期経営計画において、「日本企業の競争力強化」「サステナビリティ&イノベーション」を注力ビジネステーマとして設定しています。今後も、パーパス「ともに挑む。ともに実る。」のもと、新しい事業や挑戦するスタートアップとともに、「サステナブルな社会・経済」の実現へ挑戦していきます。

【案件概要】

組成金額	総額 56 億円
契約締結日	2024 年 7 月 31 日
契約形態	コミットメントライン（シンジケーション方式）
アレンジャー	株式会社みずほ銀行
参加金融機関	株式会社りそな銀行、株式会社大光銀行

【会社概要】

会社名	デジタルグリッド株式会社	設立	2017 年 10 月
代表者	代表取締役社長 豊田 祐介	所在地	東京都港区赤坂 1-7-1
資本金	2,643,690,316 円（2022 年 3 月 31 日現在）	従業員数	56 名（2024 年 6 月 1 日現在）
事業内容	電力および環境価値取引プラットフォーム事業		
ホームページ	http://www.digitalgrid.com/		

※1 コミットメントライン契約

予め設定された期間・融資枠内で、借入人の請求に基づき、貸付人が融資実行を約束する契約

※2 ディープテック・スタートアップ

特定の自然科学分野での研究を通じて得られた科学的な発見に基づく技術の事業化・社会実装の実現を通じて、国や世界全体で解決すべき経済社会課題の解決など、社会にインパクトを与えられるような潜在力を有するスタートアップ企業

以 上